

令和4年度

事務事業評価表(令和3年度の実績評価)

記入年月日
令和4年4月1日

Table with columns for project name, policy system position, financial system position, and administrative details.

Section (1) Summary of business activities. Includes description of the project and the duties of the person in charge.

Section (2) Business activity methods, targets, and indicators. Includes a table with columns for activity indicators, units, and performance targets from 2022 to 2026.

Section (3) Shift of input (business expenses). Includes a table with columns for input amounts, units, and performance targets from 2022 to 2026.

Table showing the internal breakdown of business expenses for 2023 and 2024, including categories like '18 burden subsidy and delivery'.

事務事業名	シルバー人材センター助成事業	事務事業No.	10601000003	所属課	高齢福祉課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
市シルバー人材センターは、高齢者が生活しているエリアを単位として、ともに働き、ともに助け合っていくことを目的に新しい就業システムとして構築された公益社団法人である。平成18年度に旧町村単位だった組織を市シルバー人材センターとして一本化し、身近な就労の場として会員を随時募集している。近年は、新規会員の数が減少し、受注件数も減ってきている。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
市シルバー人材センターから「会員数を増やすために広報などで周知していく」との意見が挙がっている。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
現状維持	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 市シルバー人材センターの運営に対し補助を行うことで、高齢者に就業機会を提供することになるため、高齢福祉の推進に結びついている。
有効性	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 「高齢者等の雇用の安定等に関する法律」第40条により必要な措置を講ずるよう求められており、また厚生労働省による事業の執行方針が地方公共団体が応分の補助を行うことを前提に規定されているため、妥当である。
効率性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)
	<input type="checkbox"/> 向上余地がない 市がシルバー人材センターを支援することにより、高齢者の自立を促し、高齢者が生きがいを持って働くことができる場の提供ができています。
公平性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 高齢者の生活の充実を図るため、就業機会を提供する団体としての役割は重要性を増している。市が運営費補助を廃止した場合、国庫補助金も廃止となるため廃止及び休止はできない。
公平性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合)
	<input type="checkbox"/> 余地がない 具体的な手段、事務事業名 適正に事業を行うための補助であるため、統廃合や連携はできない。
公平性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)
	<input type="checkbox"/> 削減余地がない 適正に事業を行うための補助であるため、これ以上削減すると安定した事業運営を損なう可能性があり、削減の余地はない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 適正に事業を行うための補助であり、会員全員が受益者であるため公平、公正である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																											
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	高齢化が進展するなか、シルバー人材センターの担う役割は益々重要となる。就業機会を提供することにより、生きがいや社会を支える活動及び介護予防・日常生活総合支援への貢献が期待できる。																											
③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																												
(3) 今後の事業の方向性																													
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																													
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																											
		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th rowspan="2">低下</th> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下	維持				低下			
		コスト																											
		削減	維持	増加																									
成果	向上		○																										
	維持																												
低下	維持																												
	低下																												
		(6) 事務事業優先度評価結果																											
		成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 9																											

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価	確認欄
<input checked="" type="checkbox"/> A A: 継続 (現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続 (改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	<input type="checkbox"/>